



阿南東部高齢者お世話センターだより



阿南高齢者お世話センターのホームページはこちら→



阿南市宝田町今市
金剛寺43
特別養護老人ホーム
阿南荘内
☎22-4577
FAX 22-4622

～ヤングケアラー等、困難を抱える子ども家族への支援について～

8月31日阿南市社会福祉協議会で、講演会がありました。講師は鳴門教育大学大学院の木村直子先生です。

「ヤングケアラー」とは、「家事や介護を日常的に担うことで、自身のやりたいことや勉強などができない、子どもとしての権利が護られていない状況にある子ども」とされています。「お手伝い」とどこが違うのかというと、「お手伝い」はやりたくない日やできない時があってもいいのに対し、子どもがそれらの家事や介護を行わないと、日々の生活がまわらない、または子ども自身がそう思い込んでいるところにあります。

内容が些細なこと、例えば「話し相手」や「〇〇を持ってきて」などであっても、頻回になると子どもがその時していることは度々中断させられ、集中して物事を最後までやりきることが難しくなります。

また子どもは自分の置かれた状況に疑問を感じず、当たり前のことだと思っています。「貧困」以上に「ヤングケアラー」は見えにくいとされています。

家族のケアをしてきた経験は、決して悪いことばかりではありません。良いこともたくさんあります。しかし、子どもの成長や年齢に応じた発達には、勉強や友達づきあいを通して様々な体験を広げることが望ましく、必要であるとされています。

大人の都合に合わせるのではなく、子どもを主に置き最善を考えることが、大人の役目だとされています。



🌈ご近所デイサービス交流会を開催しました🌈

9月20日富岡公民館で、ご近所デイサービス交流会を開催しました。東部地区には6か所のご近所デイサービスがあります。毎週1回、公民館や集会所に集まり実施しています。いきいき100歳体操やレクリエーション等を行い3時間程度活動します。

「ラシーサカード」を使い、参加者の皆さんと交流をしました。「ラシーサカード」とは、作業療法士が考えた介護予防ツールです。カードに書かれたお題に、皆が取り組みます。お題は体を動かすこと、自分の好きな事について、頭を使う事など様々です。実際に考えたり人に話したりすることで自分にとって大切な人や物事柄に気づくことができます。



セルフネグレクト状態の高齢者への支援について

9月27日、ZOOMで東邦大学看護学部岸恵美子先生に講義をしていただきました。「セルフネグレクト」は、自分自身による世話の放棄・放任です。高齢者虐待防止法での虐待の種類には入りませんが、それに準じて対応するものとされています。

どんな状況かというと、

- ・治療が必要な状態であるのに受診をしない。または中断してしまう。
- ・必要な介護サービスを受け入れない。
- ・継続的に環境整備や保清を怠り、不衛生な環境で暮らしている。
- ・物を必要以上にため込み生活環境を圧迫する。
- ・動物をたくさん自宅に置く(飼育と言える状態ではない)

このようなことから孤立し、その結果孤独死につながることもあります。もともとコミュニケーションが苦手で、他者からの介入を拒む人が多いです。認知症や精神疾患が原因の事も多く、その場合は受診することも必要です。まずは専門職や地域住民が関わりをもっていき、顔を見る、少しでも会話をするところからはじめていきます。ゴールは「その人らしい生き方を支援」することだと、話されていました。



小地域見守りネットワークを開催しました。

9月19日富岡地区の小地域見守りネットワーク会議を開催しました。地域の特徴としては、学校や店などがたくさんあり、住みやすく新しい家やマンションが増えています。比較的独居の人は少ないようです。

しかし、少しづつ年代が変わっていき、支援を必要とする「高齢者」の方々も変わっていきます。中には高齢者お世話センターのことを全く知らず、どこに相談していいのかわからず困っている人もいます。おたよりや阿南市ホームページ等で広報をしているので、見ていただければと思います。

